

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年8月31日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費には一部に回復の動きがみられるが、総じて弱い動きとなっている。
大型小売店販売額は前年を上回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(6月)
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額とも前年を下回った。(7月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。
鉱工業生産指数が食料品・たばこ工業等の増により前月を上回った。(6月)

雇用面・・・おおむね横ばいとなっている。
現金給与総額は前年を下回り、所定外労働時間は前年を上回った。(6月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(7月)

需要面の動き

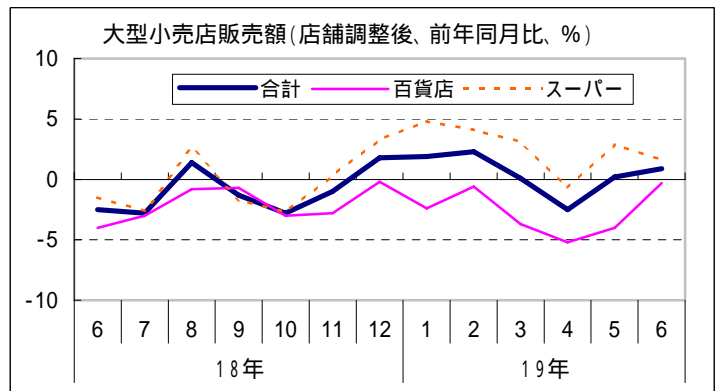
大型小売店販売額(6月)

全店舗の販売額は、53億2,947万円(前年同月比0.9%増)と2か月続いて前年を上回り、店舗調整後でも2か月続いて前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	532,947	0.9 (0.9)
百貨店	202,224	0.3 (0.3)
スーパー	330,723	1.6 (1.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(6月)

30億4,051万円(前年同月比0.6%減)と3か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(7月)

1,671台(前年同月比15.9%減)と13か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比22.1%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(7月)

263戸(前年同月比45.8%減)と2か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、分譲住宅の減少(前年同月比95.5%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(7月)

13億56万円(前年同月比10.1%減)と2か月続いて前年を下回った。用途別では、その他のサービス業用(前年同月比80.6%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(7月)

89億1,800万円(前年同月比25.7%減)と3か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減(前年同月比30.4%減)が大きな割合を占めた。

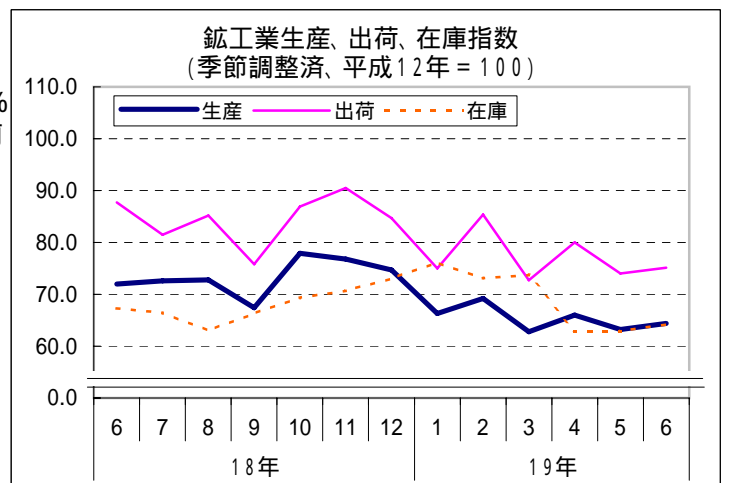
産業面の動き

鉱工業指数(6月)

生産指数(季節調整済)は64.4(前月比1.9%上昇)と2か月ぶりに上昇し、原指数は62.0(前年同月比12.1%低下)と6か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が民生用電気機械器具等の生産増により0.4%上昇、食料品・たばこが8.0%上昇、一般機械が1.0%低下、繊維が2.3%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は64.2と前月比2.1%上昇した。



大口需要電力実績(6月)

144,137千kwh(前年同月比0.8%減)と3か月ぶりに前年を下回り、鉱工業は機械等で増となり0.7%増加した。

青果物卸売量(7月、鳥取市場)

野菜が1,251t(前年同月比5.7%増)と2か月ぶりに前年を上回り、果実は1,043t(前年同月比18.5%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(7月、境港)

7,921t(前年同月比99.5%増)と2か月続いて前年を上回った。

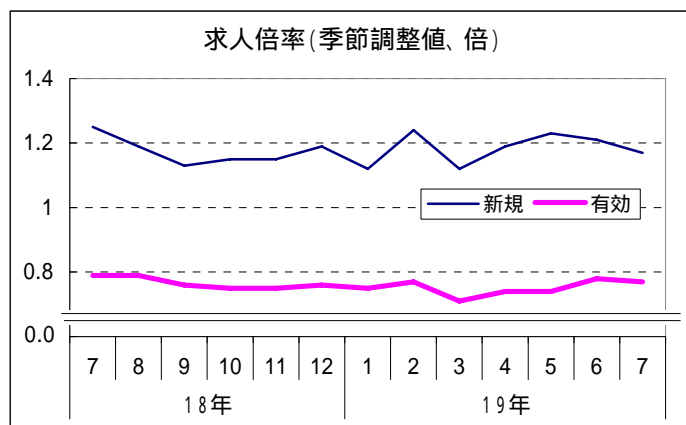
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(7月)

1.17倍(前月差0.04ポイント低下、前年同月差0.08ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,940人で前年同月比5.4%の減であった。

有効求人倍率(7月)

0.77倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.02ポイント低下)と9年5か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(6月)

435,157円(前年同月比6.8%減)と2か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,436円で12か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(6月)

9.1時間(前年同月比7.8%増)と6か月ぶりに前年を上回った。主力の製造業は4.0%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比199.3%増)等で前年を上回り、サービス業(前年同月比14.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(6月末)

預金残高は、1兆9,088億円(前年同月比2.1%増)と10か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,370億円(前年同月比2.1%減)と10か月続いて前年を下回った。

参考

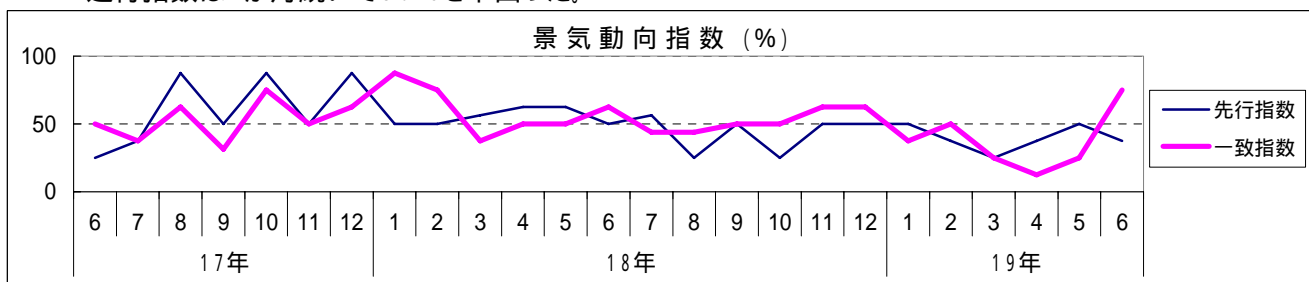
鳥取県景気動向指数(6月)

先行指数37.5%、一致指数75.0%、遅行指数20.0%となった。

先行指数は2か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は6か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は2か月続いて50%を下回った。



企業倒産(7月)

件数は6件(前年同月比50.0%増)で2か月ぶりに前年を上回り、負債総額は6億8,300万円(前年同月比178.8%増)で5か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(7月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月と同水準で、前年同月比(0.1%上昇)は11か月ぶりに上昇した。

鳥取県の推計人口(8月1日現在)

600,177人で、前月と比べて147人(0.02%)減少し、前年同月と比べて4,039人(0.67%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年8月調査)

平成19年10~12月期は、平成19年7~9月期に比べると景気、売上高、経常利益ともやや好調となる見通しとなっている。